

第194回（令和元年5月26日施行）

2級工業簿記

第1問

直接材料費、直接労務費、間接材料費、間接労務費、間接経費に該当する具体的な費用を選択する問題です。

第2問

個別原価計算を想定し、受注から、材料の購買、製品の製造、販売までの一連の流れに沿った仕訳問題です。

第3問

単純総合原価計算を想定し、材料費と加工費の勘定ボックスを用いて完成品総合原価と月末仕掛品原価を計算する問題です。

第4問

矢印を用いた出題では、矢印が交差する場合などの出題には制約がありました。そこで、見やすさを重視し、問題のバリエーションを増やすためにも、従来の矢印を用いた出題から表記を変更しました。なお、①のように、本来であれば買掛金勘定などが必要となりますが一部の抜粋にとどめて出題することもあります。また、④のように、他の勘定との振り替えを伴わない記帳に関する問題を出題することもあります。ただし、難易度が上昇することのないよう注意を払います。

第5問

個別原価計算を想定した原価計算表を作成する問題です。なお、直接労務費と製造間接費の計算では、途中で端数が生じる場合もありますが、問題文の指示に従えば、端数の生じない方法で計算しても端数の生じる方法で計算しても、最終的な結果は同じになるため別解はありません。